

経営学部FD推進のための一考察

— 4年生を対象としたアンケート調査の結果より —

中 野 謙

はじめに

本調査は、中京学院大学経営学部（以下、「本学部」と略す）におけるFD推進の一環として、次の2点を主たる目的として実施した。①年度を超えて蓄積されたFD活動の成果の評価、②本学部の集客力（学生募集力=魅力）の測定。

現在の学生に対するアンケート調査の目的は、「学生の視座による客観的なFD推進度の評価」であり、すべての在籍生を対象とした「年度単位の評価」を実施している。一方、「大学の長期的な変化に対する評価」を目的とした調査は行われていなかったため、2015年度のFD活動を通じて、その実施が決定された。

これを受け、2016年度のFD委員が調査方法の検討を行い、入学から現在（4年生の前期課程終了時）までの期間を対象とした、長期的な大学の変化について聞き取りを行うことが決まった。また、この調査と同時に、調査対象者自身の変化（成長の実感）と大学に対する評価（後輩に勧めたいと思うか否か）を尋ね、今後、学生にとって「より魅力ある大学・学部への発展を目指した現状の確認」を、第2の目的とした。

1. 方法

本調査は、FD・評価委員会が作成した調査票を用いて、「専門卒業研究Ⅰ」を受講する、すべての4年生を対象に行った。実施日は2016年6月27日（月）から7月26日（火）までの1ヶ月であり、4年生在籍者141人中89人（回答率63%）から回答を得た。

調査票の設問は、下記の通りである。

1. 本学（経営学部）に入学したときに不便な点や不満な点を感じましたか。感じた場合は、その理由や原因を記述して下さい。
2. 不便な点や不満な点はいつどのように解消されましたか。解消されなかった場合、な

- ぜ解消されなかったのでしょうか。また、どうすれば解消されると思いますか。
3. 本学（経営学部）への進学を高校の後輩に勧めたいですか。また、その理由はなんですか。
 4. これまでの大学生活で知識面や人間性の面において、自分は成長したと思いますか。また、その理由は何ですか。
- ※ 上記のすべての設問には選択肢と自由記述欄がある。

2. 結果

1) 入学当時に感じた問題点とその解消の度合い

図1は、設問1「入学当時に不便や不満を感じたか」と設問2「その不便や不満は解消したか」の結果を示す（各設問は簡略表記している。以下同）。左の円グラフは、入学当時に学生生活において何らかの不便・不満を感じた学生が89人中38人いたことを示しており、全体の43%が、何らかの問題を感じていたことが表れている。また、右の棒グラフは、これらの問題が、4年生となった現在までに解消したか否かを示している。その結果、入学当時に感じた問題が解消したと感じている学生は38人中9人（23%）であり、3年経っても解消していないと感じている学生は22人（58%）であった（無回答者7人、19%）。

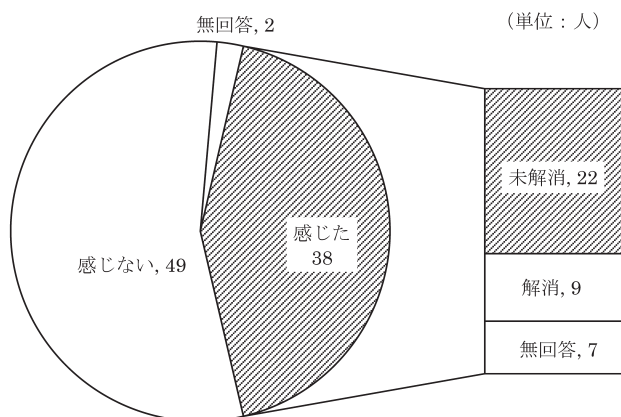


図1 設問1と設問2の回答

設問1「入学当時に不便や不満を感じたか」

設問2「その不便や不満は解消したか」

注：円グラフは設問1の結果を、棒グラフは設問2の結果を示す

表1は、設問1の問題点（不便・不満）を分類別に表している。分類は、「設備」「立地」「バス」「教育」「制度」「その他」の6種である。分類項目の「設備」は、大学内の設備と備品に関する事柄を表す。「立地」は、大学の所在地と周辺環境に関する事柄を表す。「バス」は、通学用のバスの便数、運行時間、停留所の位置に関する事柄を表す。「教育」は、学部の教育に関する事柄を表す。「制度」は、大学の運営、授業の運営、学生支援の体制に関する

る事柄を表す。

アンケートで挙げられたすべての問題点をこの6種に区分すると、1位から順に、「設備」16件、「立地」9件、「バス」7件、「教育」5件、「制度」4件、「その他」2件となる。

表1 問題点（不便・不満）の分類

1位	設備	16件	4位	教育	5件
2位	立地	9件	5位	制度	4件
3位	バス	7件	6位	その他	2件

注：詳細は巻末の「別表1」を参照

2) 本学部への進学への推奨

図2は、設問3「本学部への進学を他者に勧めるか」の結果を示す。その結果、「勧めない」は89人中31人（35%）であり、「勧める」は47人（53%）であった（無回答11人）。

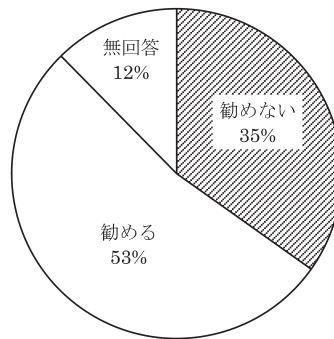


図2 本学部への進学を他者に勧めるか

表2は、本学部への進学を他者に勧める理由と勧めない理由を分類別に表している。分類は、「部活」「環境」「就職支援」「教育」「教員」「賛否両論」「知名度」「進学より就職を勧める」「その他」の9種である。分類項目の「部活」は、クラブ活動に関する事柄を表す。「環境」は、大学の立地、設備、雰囲気などに関する事柄を表す。「就職支援」は、学生支援部による就職支援に関する事柄を表す。「教育」と「教員」は、それぞれに関する事柄を表す。「賛否両論」は、「良い面と悪い面の両方がある」とする回答の数を表す。「知名度」は、本学部の知名度に関する回答の数を示す。「進学より就職を勧める」は、「本学部へ進学するよりも、就職することを勧める」とする回答の数を表す。

表2 勧める理由と勧めない理由（上位4位）

勧めない理由			勧める理由		
1位	環境が悪い	10件	1位	部活が良い	15件
2位	教育が悪い	3件	2位	環境が良い	5件
3位	進学より就職を勧める	2件	〃	就職支援が良い	5件
4位	部活が悪い（差別待遇）	1件	4位	教育が良い	4件
-	その他	4件	〃	教員が良い	4件

注：詳細は巻末の「別表2」を参照

「勧めない」の理由は、1位から順に「環境」10件、「教育」3件、「進学より就職を勧める」2件、「部活」1件、「その他」4件である。

「勧める」の理由は、1位から順に「部活」15件、「環境」「就職支援」各5件、「教育」「教員」各4件である。ちなみに、6位以下は「賛否両論」3件、「知名度」2件、「その他」13件である。

3) 学生生活を通じた成長の実感

図3は、設問4「本学部での学生生活を通じて成長を実感できるか」の結果を示す。その結果、「成長していない」は89人中11人(12%)であり、「成長した」は72人(81%)であった(無回答6人)。

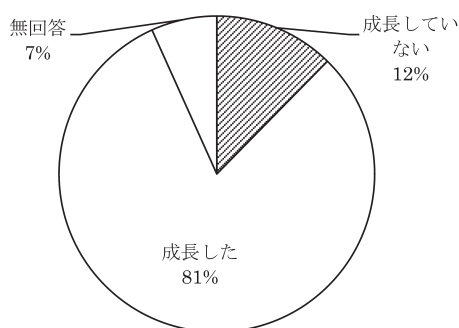


図3 成長の実感

表3は、学生生活を通じて成長を実感できた部分とそうでない理由を分類別に表している。分類は、「学業面」「能力面」「部活面」「人間関係」「アルバイト」「変化なし」「その他」の7種である。分類項目の「学業面」「能力面」「部活面」は、それぞれの面で成長を感じたとする回答の数を示す。「人間関係」は、人脈の広がりや、対人関係を円滑にする能力の成長を感じたとする回答の数を示す。「アルバイト」は、アルバイトを契機とした成長があったとする回答の数を示す。「変化なし」は、高校卒業時点ですでに現在の能力があったとする回答の数と、大学生生活に由来する成長は感じないとする回答の数を示す。

「成長を感じない」の理由は、「変化なし」7件と「その他」2件である。

「成長を感じる」の理由は、1位から順に、「学業面」19件、「能力面」18件、「部活面」11件、「人間関係」9件である。ちなみに、5位以下は「アルバイト」4件、「その他」6件である。

表3 成長を感じる部分と感じない理由(上位4位)

成長を感じない理由			成長を感じる部分		
1位	変化なし	7件	1位	学業面	19件
-	その他	2件	2位	能力面	18件
			3位	部活面	11件
			4位	人間関係	9件

注：詳細は巻末の「別表2」を参照

3. 分析

設問1で挙げられた問題点のうち、最も多かったのは「設備」に関連するもので、特に学内食堂に関するものが多く、座席数やメニューが少ないこと、味に関する不満、電子レンジの設置要望などが挙げられている。また、トイレの数を増やすことや、洋式への変更を求める意見も多かったが、これは一昨年の改修工事によって解決済みとなっている。一方、部活動に関連した問題として、トレーニング機材を増やすことや、けがをしたときのためのバリアフリー化の要望が挙げられている。また、ATMやコンビニの設置や喫煙所の増設を求める要望や、学内無線LANの利用申請に義務づけられている試験に対する不満もあった。

設備に次いで多かったのは「立地」であり、主に、キャンパスが山の中腹に位置しているため、駅・寮・商店・娯楽施設などから遠く、通学にも不便であるとの意見が目立つ。これは、3位の「バス」の問題との関連が深く、バスの便数が少ないため、通学の不便さが際立つ結果となっている。また、バスの本数が少ないことから利用者が集中して混雑するだけでなく、乗り損なうと長時間待たなければならないため、バスが停車する前から先を争って乗車しようとする者が少なからずいるため、事故につながる危険があるとの指摘もある。

4位の「教育」については、教員免許が取れないことがわからなかったこと、入学時の留学生の日本語能力が低すぎることを、日本語で講義を行う留学生専用クラスがないこと（日本人学生と混同だと、日本語力が足りないために理解が追いつかない）が、5位の「制度」については、授業間の休憩が5分しかないこと、教室の変更が多いこと、留学生が多様であること、授業時間が長いことが挙げられている。「その他」については、留学生の学内活動が少ないことや、留学生も入れる（日本人学生と合同で活動ができる）サークルや同好会がないことに対する意見が出されている。

表4は、設問1で挙げられた問題のうち、解消したものとしていないものの件数を示す。解消した9件の内訳は、「設備」に含まれる「トイレ」に関するものが3件、「教育」に関するものが3件、「バス」に関するものが2件、「立地」に関するものが1件である。

表4 設問1と設問2の関連

	解消	未解消	無回答	総計
感じた	9	22	7	38

これらの問題のうち、「トイレ」に関する3件は、大学の対応（一昨年の改修工事）によって解消した。一方、「教育」に関する3件は、学生の自学自習によって、「バス」と「立地」に関する計3件は、自動車やバイクでの通学に切り替えたことによって解消した（回答の詳細は、巻末の「別表1」を参照）。

まだ解消していない問題点は、表5が示す通りである（未解消とする22人のうち、複数の問題を指摘している者がいるため、合計は25件である）。ただし、この中には「Wi-Fi使用申請時に試験を受けなければならないのが面倒」や「町中に大学を移転して欲しい」など要望も含まれるため、実現可能性と優先順位を精査して対応する必要があると言えよう。

表5 残された問題点

分類	No.	4年生入学時から解消していない問題
設備	1	食堂が狭く、昼休みに混雑する
	2	食堂のメニューが少ない
	3	食堂の料理の味がよくない
	4	食堂に電子レンジが欲しい
	5	食堂以外の飲食店が欲しい
	6	トレーニング機材を増やして欲しい
	7	バリアフリーになっていない
	8	ATMやコンビニがない
	9	喫煙所が1つしかない
	10	Wi-Fiの試験が面倒
立地	11	大学が山奥なので通学が不便
	12	駅・寮・コンビニ・娯楽施設が遠い
	13	通学時の坂が急なので、冬は凍って危険
バス	14	本数が少ない
	15	休日はさらに本数が少ない
	16	乗車のときに押し合いになる
	17	満員で乗れない、乗っても座れない
	18	足が不自由なのに座席を譲ってもらえない
教育	19	教員免許が取れない
	20	グループワークを取り入れた授業が少ない
制度	21	教室変更が多い
	22	休み時間が5分しかない
	23	授業時間が長い
その他	24	留学生の学内活動が少ない
	25	日本人と留学生と一緒に活動できるサークルが欲しい

表6は、設問1と3の関連を示す。すなわち、「入学当時に問題点を感じたか否か」と、「本学部への進学を勧めるか否か」のクロス集計である。

設問3で、本学部への進学を「勧めない」と回答したのは31人であり、そのうち入学当時に問題を感じた者は18人、感じなかった者は13人であった。同様に、「勧める」と回答したのは45人であり、内訳は、それぞれ18人と27人であった。この結果から、「入学当時に問題点を感じたから勧めない」と「入学当時に問題を感じなかったから勧める」と考えている回答者が最も多いと解釈することができよう。

一方、全体を俯瞰すると、「勧める」とする回答が53%で過半数を占めているが、「勧めない」とする回答が35%と、決して少なくないことがわかる。

表6 設問1と3の関連

	勧めない	勧める
感じた	18	18
感じない	13	27
総計	31	45

注：無回答者を除く

他方、「問題点を感じたけど勧める」と回答した18人と、「感じないけど勧めない」と回答した13人については、その理由を、今回の調査から読み取ることはできない。

表7は、表6で問題点を「感じた」とする回答に対して、それが解消したか否かを示す。ここから、「勧めない」と回答した18人のうち、入学当時に感じた問題が解消していないと回答したのが14人、解消したと回答したのが4人であることがわかる。同様に、「勧める」と回答した18人では、それぞれ10人と5人である（無回答者を除く）。この結果から、「入学当時に感じた問題点が解消していないから勧めない」と考えている回答者が最も多いと解釈することができよう。一方、「未解消でも勧める」とする回答が2番目に多いことと、「問題は解消したが勧めない」とする回答については、その理由を、今回の調査から読み取ることはできない。

表7 設問2と3の関連

	勧めない	勧める
未解消	14	10
解消	4	5
総計	18	15

注：無回答者を除く

一方、表8は、設問4の「成長を感じたか否か」と設問3の「本学部への進学を勧めるか否か」の集計を示す。設問4で「成長していない」と回答した9人のうち、8人（89%）が設問3で「勧めない」と回答している。また、「成長した」と回答した69人のうち、44人（64%）が「勧める」と回答している。ここから、成長したと感じなかった学生は本学部への進学を後輩に勧めないと回答し、成長したと感じた学生は勧めると回答していることがわかる。こうした傾向は、「一般的に考えて妥当」と言えるが、大学にとっての問題は、「成長したが、後輩には勧めない」と回答した25人（36%）の理由である。しかし、その明確な理由は記載されていないことから、今後、これに焦点を当てた調査が必要である。

表8 設問4と3の関連

	勧めない	勧める
成長していない	8	1
成長した	25	44
総計	33	45

注：無回答者を除く

結論

本調査は、本学部の4年生を対象に、3年半の大学生活を通じて感じた問題点（不便・不満）と、その解消の度合いを明らかにするために実施した。その結果から、複数年度にまたがるFD活動の客観的評価を確認することを目的とする。

調査の結果、半数に近い43%の学生が入学当時に何らかの問題点を感じており、そのうち、解消したのは23%、解消しなかったのは58%であることが明らかになった。これらの問題点は表5が示す通りであり、中長期での対策が必要となる。しかし、これらの問題点の中

には、学生の怠惰やわがままに起因する内容や要望が含まれているため、すべてを鵜呑みにすることなく、実態調査と対応を実施する項目の再検討が不可欠である。

第2の目的である「より魅力ある大学・学部への発展を目指した現状の確認」では、次のような結果が明らかとなった。

大学の魅力を問うための「本学部への進学を高校の後輩に勧めるか」という質問には、「勧める」とする回答が53%であった。しかし、「勧めない」とする回答が35%であり、今後は、この部分に対する対応が不可避であると言わざるを得ない。

一方、「勧めない」とする理由は、表2と別表2が示すが、内容が曖昧なものや主観的なものが含まれるため、設問3（進学を勧めるか否か）を、設問1（入学当時に問題を感じたか否か）、設問2（その問題が解消したか否か）、設問4（成長を感じるか否か）とクロス集計することで傾向を導くことを試みた。その結果、大学入学当時に問題を感じた学生は「勧めない」、感じなかった学生は「勧める」と答える傾向があることが示された。しかし、その傾向は強く表れているわけではなく、「問題点を感じたけど勧める」、あるいは「感じないけど勧めない」と回答した学生も多いことが明らかになった。

また、「入学当時に感じた問題が解消したか否か」と「進学を勧めるか否か」の関連を見ると、「入学当時に感じた問題点が解消していないから勧めない」と考えている回答者が最も多いと解釈できる。しかし、ここでも、「未解消でも勧める」や「解消したが勧めない」といった、相反する回答も多い。

さらに、大学生活を通じて成長を実感している学生ほど「後輩に勧める」とする回答が多く、逆もまた然りであった。ところが、成長を実感している学生の36%が、「それでも後輩には勧めない」と回答していることは、憂慮すべき事態である。

これらの結果からは、入学以来大きな問題を感じておらず、また、3年半の期間を過ごした母校であり、この期間を通じて成長を実感しているにも関わらず、本学部に対して「他者に勧められるほど魅力的な大学・学部ではない」と感じている学生が4割近くいることが読み取れる。

そこで、今後のFD推進にあたっては、まずは在学生の愛着や信頼性を高めることが喫緊の課題であると言えよう。そのためには、表2が示す理由について追加調査を行い、実施課題の取捨選択と改善策の検討が必要であると考えられる。また、大学生活と学習環境の向上のために、表5が示す問題点についても検討を行い、必要なものには対策を実施し、その「進捗と結果を学生に周知徹底する」ことに努めるべきである。さらに、対策が不要なものや実現可能性に乏しいものに対しては、それらを「却下する理由を学生に明確に伝える」ということも不可欠である。

大学に対する学生の愛着、信頼性、満足度などを高めるためには、彼らから聞き取った問題に対して、端的に対応するだけでなく、「誰が、何を、いつまでに実施するのか」と、「その結果がどうなったのか」を可視化し、大学側が真摯に積極的な対応を実践していることを印象づける必要があると考える。

6. 参考文献

- 1) 加藤幸次『大学授業のパラダイム転換』黎明書房、2014年2月
- 2) 河合塾編著『「深い学び」につながるアクティブラーニング』東信堂、2013年4月
- 3) 河合塾編著『「学び」の質を保証するアクティブラーニング』東信堂、2014年5月
- 4) 久保田賢一、岸磨貴子編著『大学教育をデザインする』晃洋書房、2012年7月
- 5) 毛受芳高、馬場英朗「大学教育におけるキャリア教育の意義と課題」愛知学泉大学『経営研究』vol. 25、no. 1&2、2012年3月、pp. 39-48
- 6) 安岡高志、滝本喬、三田誠広、香取草之助、生駒俊明『授業を変えれば大学は変わる』プレジデント社、1999年

別表1 設問1の分類と設問2との関連

No.	不便・不満(設問1)	分類	対応(設問2)	結果(設問2)	要望(設問2)
1	①バスの本数が少ない、②帰りのバスの乗車時に押し合いになる、③足が不自由なのに座席を譲ってもらえなかった。	バス	×	①バス会社との連携が取れているのか、②バスが到着すると、移動中にもかかわらず扉の前に群がることを見て不快だった。バスにひかれることもあると思う。③お年寄りには席を譲るのに、なぜ障害者の私には譲ってくれないのか。	①学校とバス会社の連携をうまくして欲しい。なかなか難しいのかな。②駅前のように、バスの停車位置を決めたり、看板を立てるなどの工夫をして欲しい。③一人一人が親切な心を持つこと。障害者とお年寄りは違います。見た目で判断しないで欲しい。
2	入学式の会場が遠い。	立地	×		キャンパスの敷地を広げると、より良いと思います。
3	交通の便、バスの本数が少ないために乗れないときがあった。	バス	○	車で通学することにより解消。	
4	コンビニが遠い。休みにになるとバスの本数が減るので不便。	バス/ 立地	×	コンビニも下におりないとなし、バスの本数も変わっていない。	近くにコンビニを作る。平日の本数と休みの本数の差を少なくする。
5	部活で足をケガして松葉杖だったとき、まったくバリアフリーがきいていなくて、とても不便だった。部活が盛んな大学なのに、そういう設備がしっかりしていなくて、とても不満だった。けが人用エレベーターを作るべき。	設備	×	入学時と何ら変わらない設備。	部活をやっている人たちのことを考えた、しっかりと設備の設置。
6	バスの本数が少ない。	バス	×	いまだに本数が変わっていない。	本数を増やすべき。
7	駅から遠く、通学時に不便を感じた。	立地	○	車通学になった。	
8	教員免許が取れなかった。取れないと知ったとき。	教育		青山さんがきくと取れるようにしてくれる。	取れるようにする。
9	立地	立地	×	多分、金銭的問題	生徒、教員の意識の統一
10	トイレが汚かった。授業の合間に休憩する場所がないと思った。	設備	○	一昨年、きれいに工事された。	
11	学食の他にもちよつとした食べ物があったらいい(売店以外)。履修登録のときなどPCの量が少なくて、なかなか期間中に登録できなかつた。喫煙所が学内に1つしかない。授業と授業の間が5分しかない。移動している間に鐘が鳴る。水分補給すらできるかできないか。	設備/ 制度			
12	教室変更が多い。	制度	×		
13	大学の場所が山の上だから大変。	立地	×	大学を建て直すのは難しい。	大学の場所を変える。
14	ATMやコンビニがない。	設備	×	金銭的、立地的問題。	ムリだと思う。
15	学校が山奥にあるので、原付を利用しては、冬、道路が凍っていてとても危険である。	立地	×	バスは利用するが、自分のタイミングで降りたり登ったりできないので。	バスの時間帯をもう少し増やす。
16	食堂。	設備	×	変わろうとしないから。	
17	昼食の時間の食堂が狭いためか、座れる場所がなく、いつも混む。	設備	×	自分が何も話さなかつた。	お金も時間もかかるので、なかなか厳しいのでは。
18	足が悪いので、和式トイレが不便だと思った。	設備	○	2号館が洋式に変わって、使いやすくなった。	
19	バスの便が少ないと思った。	バス	×		
20	コンビニが遠い。	立地	×	上には作れない。	どこかに作る。

21	足がないと学校までの交通手段が、寮からバス停まで歩いて20分かかるし、不便。	立地		原付を買った。寮の近くに大学行きのバス停がない。	各自で原付や車を買う。バス停を増やす。
22	交通の便が悪い。田舎過ぎる。遊ぶところがない。トレーニング機材を増やして欲しい。	立地／設備	×	何も変わっていない。	建て直す。
23	バスの混み具合(満員)。食堂の席が少ない。	バス／設備	○	2年生の後半から車を使い始めた。次の授業のある教室で弁当を食べる。	
24	学食がまずい。	設備	×	わからないが、まずい。	もっとおいしく作る。
25	学食のメニュー(朝食)	設備	×	朝食のメニュー	もっと健康的に、朝食っぽく。
26	食堂がイマイチ。	設備	×	食堂側の方針。	食堂の人たちが考え方を变える。
27	他の大学では、普通に無料Wi-Fiが使える。	設備		テストを受ければ使える。そのテストを受けないと使えないのがめんどくさい。	
28	バスの数が少ない(朝)。洋式のトイレが少ない。	バス／設備	×	最近増えたと思う。たぶん。	
29	トイレが和式ばかりだった。	設備	○	一昨年、トイレの改装が行われ、洋式トイレが増えた。	
30	食堂に電子レンジがなかったです。	設備			
31	いろんな留學生がたくさん集まっています。	教育	○	1年生ではじめて経営組織論の授業を受けたとき、日本語の知識が足りなくて、とても大変でした。授業が受けられるように自宅で日本語の勉強をしたり、休みの日に日本語教室で勉強したりしました。	理解できない講義があれば、図書館で本を調べたり、ネットを調べたりします。
32	休み時間が少ない。	制度		授業の時間は5分に減少。授業時間足りない。	授業時間5分に減少。
33	バスが、人が多すぎて乗れない。乗っても立つところがない。	バス	×		いつも1台多めに来た方がいい。
34	入学したとき、日本語を勉強されていなかったことは不満を感じました。	教育	○	自分自身でがんばらなければなりません。	
35	不便は長い時間。	制度		早く授業終わりです。	
36	私は外国人なので、外国人に日本語だけの授業が欲しいです。日本語が下手なばかりに、授業の内容があまりわかりません。留學生たちの学内での活動が少ないです。	教育／その他	×	留學生の学内での活動はまだ少ないです。学生だけどエキサイティングじゃないです。授業があまりおもしろくないから学校に行きたくないです。	
37	日本語下手ですけど、いろいろな知らないことがある。	教育	○	経営の難易度。授業の中でいろいろ勉強した。	
38	前の短期大学のときは日本人の友達をいっぱい作ることができました。でも、ここに入學したとき、ちょっと寂しい気持ちがあったので、サークル・同好会があった方がいいと思います。	その他	×	日本人の友達を作れなかったです。また、授業中のグループワークが少ないし、自分の力が発揮しなければなりません。正しいかどうかかわからないし。	ほとんどの授業にグループワークがあった方がいいと思います。ちゃんと日本語の練習をできるし、他の人とコミュニケーションをできれば、絶対もっとがらぶる気持ちが増えると思います。

注1：網掛けは記入がないことを示す。

注2：誤字と明確な文法の間違いは修正した。

別表2 設問3と設問4の関連

No.	勤める (問3)	理由(問3)	成長した (問4)	理由(問4)
1	○	勉強しながら部活動に打ち込める。キャリアの方々をサポートしてくれるので安心。	○	すべて全力でやり遂げられるようになった。
2	○	生活がしやすい。	○	目を見て話ができるようになった。
3	○	なんだかんだ言っただけで、楽しい4年間でした。不満は移動の面だけになってしまいましたが、先生方も良い先生ばかりで、本当に助けられました。野球も、優勝することができたので、ぜひ、強い高校から入学して、もっともっと中京学院大学を有名にして欲しいです。	○	知識面＝パソコン操作ができるようになった。物事をあらゆる見方で考えられるようになった。人間性の面＝心に余裕ができた。学祭を通じて、多くの人と触れ合うことができた。地域の人々との交流から、やっぱり地元っていいなと思った。
4		自分で考えて行動できる人には勧めたいが、周りに流されやすい人にはあまり勧めたくない。	○	様々な人と関わっていく中で、コミュニケーション能力、人間関係の構築ができたと感じるから。
5	○	スポーツをやりたいのならお勧め。	○	パソコンの技術が少し上がったと思います。
6	×	自分は何もできないから、中途半端な大学に行くより働いた方が良くと思うから。	×	何もしてこなかったから。親に迷惑だと思っている。
7	○	授業料減額や部活が盛んといったところ、就職のサポートが手厚いのが魅力。	○	自分の選択に責任を持つということで、自身のある程度律することができるようになった点は成長したのかなと思う。
8	○	自分次第でどうにかなるので、成長できるから。	○	部活でいろんな事を経験し、自分自身がとても成長した。
9	×		○	クラブ活動を通じて、社会に出てからのマナーやスキルなどを学ぶことができたと思う。
10	○	環境がよいから。	○	一人暮らしをして、アルバイトもして、社会に出るための準備がしっかりできたと思う。
11	×	部活員数する人が多すぎ。平等に見ていない。	×	いままでどおりだった。
12	○	スポーツが有名なので、スポーツをするならすすめたいです。	○	人見知りをあまりしなくなった。
13	×	設備のよい大学を勧める。	○	礼儀、コミュニケーション能力、1つのことにむかっていく力、すべて部活動で学んだ。部活においては、とても学校の先生方にお世話になり、真面目に向かい合うことを学んだ。
14	○	大学が大きくないため、先生とのコミュニケーションが取りやすい。	○	大学祭の実行委員長を経験して、人に指示を出すときの大変さ。
15	○	先生が親身になって話を聞いてくれ、親しみが持てる。	○	多くの友人ができ、コミュニケーション力が向上した。
16			○	自身で物事を考える力が付いた。
17	○	よく面倒を見てくれる。	○	色んな人に出会って、出会えてよかった。
18	×	大学卒業後の不安があるから。学力向上を期待できないから。	○	自立できる心がついたと思う。
19	○	スポーツが盛んであるため。資格取得にも力を入れている。	○	就活もはじまり、自分の力で物事を考え、行動することができたため。
20	○	部活動に専念できるので。	○	穏やかな性格になった。
21	×		○	バイト、野球などを通し、多くの人と出会い、また経験をして、いろいろな面で考えることができるようになった。
22	×	あまり勉強の選考がないため、将来につながらない。	○	いろいろな人と接するため、成長できた。
23	×	何もない。	○	生きていく中で、毎日成長を感じている。
24	○	いいところだけだから。	○	先輩や先輩との出会いで進化した。
25	○	野球部はバイトもできるし、親の負担を少なくしながら野球や学校生活をおくれるから。	○	いろんな先生から指導を受けて、内面的に成長できたと思う。
26	×	立地的にも住みにくい。設備等にも問題がある。	○	ボランティア等をした。
27	○	色々学ぶ。	×	入学前と変わっていない気がする。

28	×	設備もきれいで、女子もいっぱい居る大学が他にもっとあるから。	○	その背景には部活動のレスリングがあるが、毎日朝夕と原付に乗って山奥へと練習に向かっているうちに、高校時代寝たきりだった私にとって、生活習慣がより良いものへ変わった。
29	○	部活動をするのであれば勧めたいです。	○	人間性の面において、自己中心的な性格から周りのことを考えられるようになったと思います。
30	×	特にいいと思えるところがないから。	○	しっかりと授業に出ることによって、単位ももらえるし、たくさんの知識が得られた。
31	○	楽しい。	○	理由は特にならない。
32	×	たいしてためにならない。	×	高校でもうできていた。
33	○	伸び伸びと過ごせ、将来もじっくりと考えられる。就活のときのサポートもしっかりとしている。	○	高校の時と比べ、人と関わることに抵抗がなくなった。
34	×	環境的に勧めたいとは言えない。	○	いろいろな人を見てきて、人のことを簡単に信用するものじゃないと思った。
35	×	勧めたいというより、自分の目でしっかりと見て、見学した上で行きたいと思ってきてくれたら、それでいいと思う。	○	自然の中で伸び伸び成長して、アルバイトなどで色んな人と出会い、いろんな経験ができた。
36	×	他の大学と違って、のんびりしすぎている気がする。資格取得など、学生がもっと積極的になるような体制を考え方がいい。	×	
37	×	同じようなレベルで、同じような学部が中部学院にあるため、立地的にそちらを勧めている。大学の周りに多様な店や業種があるため、社会勉強しやすいのではと思う。あと、家から近いというのもある。	○	高校とは立場や考え方が明らかに変わっていると思うが、理由はよくわからない。
38	○		○	ゼミに入って、知らない人と話す力が増えた。
39	○	講義はそこまで大変ではないから。	○	アルバイトを多くした。
40	○	楽しいから。	○	一人で行動する力ができた。
41		パソコンとかの資格はそこそこ取れるので、資格を取りたいと思っている人には向いていると思う。持っている人からすると、特に意味がないような気がします。	×	資格取得等で、知識が付いたにはしたが、それだけにしてしまったので、成長はあまりできなかったと思います。
42	○	就活のサポートを熱心にして下さるから。	○	各地方から集まって、いままで育ってきた環境が違ったから、やり方や考え方の違いを見つけて、様々な方向から物事を見るようになって、視野が広がった。
43	○	大自然だから。	○	一人で生活をできるようになった。
44	×	設備管理費があんなに高いのに、設備がよくない。	○	いろいろな部活の人と仲良くなれたことで、コミュニケーション能力が上がった。
45	×	早めに就活をして働いた方がいい。	○	少しだけ知識が増えた。
46	×	パソコンなどの資格が取りやすい。	○	より多くの人たちと関わって、いろいろなことを学んで、考え方が変わった。
47	○	生活がとてもしやすいからです。	○	いろいろなことを学べたので、良いと思いました。
48	×	場所が悪い。	○	卓球で。
49	○	野球部はいまから強くなると思うから。	○	バイトなど、いろいろな面で人と関わるが増え、人と話したりすることが苦手でしたが、いまでは克服できたと思います。
50	○	野球部に入っているもアルバイトもできるし、親にあまり負担がかからないから。	○	自分は野球をやっているんで、人間性などが成長したと思います。
51	○	野球を続けたいなら進学を勧める。	○	昔より自分の悪いところを自覚できるようになった。
52	○	楽しいから。	○	いろいろな地方の人との関わりを持つことで、幅が増えたと思う。
53	×	学力的に下がりがすぎるから。	○	部活動や友人との人間関係の中で。
54	×	いろいろと難しいから。	○	部活動などで、人間性を鍛えられた。
55	×	学校の周りに何も無い。	○	前よりコミュニケーション能力が付いた。
56	×	費用が高すぎるわりに充実していない。学食がまずい。	○	部活で様々な経験ができた。
57	○	いろいろ学べるから。	○	やったことないことを、いろいろとできたから。

58	×	あまり身につくことがなかった。	×	とくに成長していません。
59	○	就職活動でたくさんのサポートをして頂けたため。	○	パソコンについての知識が増えたと思います。授業を通して身につきました。計画的に行動することについて成長したと思います。部活動を通して成長しました。
60	○	先生が優しい。真面目です。	○	知識がたくさん勉強しました。解決の能力が高まる。
61	×		○	学校のボランティア活動に参加しました。楽しかった。勉強になりました。
62	○	大学時代はとても重要だと思います。一生懸命がんばる方がいいです。	○	チームワークの重要さがわかりました。協力し合うことは大事です。
63	○	野球が強いから。参加してね。	○	
64	×		○	経営学と経営戦略がどうということわかるようになりました。自分で小売店を経営できると思います。
65	○	卓球と野球は日本で有名。	○	いろいろな活動に参加し、日本の文化をよく勉強した。
66	○	本学の野球部は日本で有名です。	○	経営管理や会計についての知識が学部、同級生との？も楽になった。
67	○	勉強をがんばります。早めに単位を取ります。	○	自分が成長した未来の姿というのは想像しにくいからだと思います。
68	○	先生が真面目。	○	知識と日本語力が伸びた。
69	○		○	
70	×	勧めたいところがあまりないからです。	○	いろいろな経営についての知識を学びました。昔は知らなかったことが学べました。
71	○		○	
72			○	
73			×	自分は何もできないから。
74	×	私は経営学部に興味がありません。	×	現在仕事がなく、安定していない。家族に依存している。まだ若いです。
75	×		×	
76	○	いい学校だから勧めたいです。	○	先生がいろいろ教えてくれました。ありがとうございます。
77	○	高校の時に、学生はだんだん経営学部のことがわかってくると思います。	○	入学してからいいことも悪いこともあったから、生活や人間のことがだんだんわかってきました。
78	○	いい学校ですから。有名な学校だと思います。	○	大学生活で、知識面と人間性の両方が成長した。先生たち、バイトの人、周りの人の文化が何とか習得できました。
79	×	この大学への進学を高校の後輩に勧めたくないです。私の知り合いは、もし日本に来たら、他の大学に入学するべきだと思います。私にとって、この大学は本当にいい大学じゃないと思います。	×	いままで私は、自分は成長したと思いません。いろいろなことを生かじりで知っている。今生はめんどうくさいですから、もっと学んだ方がいいと思います。
80	○		○	
81	○	中京学院大学はますます有名になるから。	○	いろいろボランティアに参加して、日本の文化に触れることで成長したと思う。
82	○	経営学部は就職範囲が広い。	○	大学で色々な事を知りました。人間行動、うそつけない。
83	×	課外活動（サークル・同好会）や学内イベント（学園祭など）が少ないです。勉強だけでなく、日本人の友達も作りたいです。日本語を学んで、でも日本人の友達が作れないからです。	○	高校の時に学んだ経営学と、日本で学んだ経営学は同じところと違うところがあることに気付けたから。

注1：網掛けは記入がないことを示す。

注2：誤字と明確な文法の間違ひは修正した。